

## AA日本ニューズレター

私書箱

〒100-91  
東京都中央郵便局  
私書箱 916



AA 日本ゼネラル・サービス・ミーティング・文書委員会  
TEL03-590-5377 〒171 東京都豊島区池袋 2-23-3 橘ビル 9F



No.23

## AA 55周年 記念集会に参加して

7月5日から8日まで、シアトルで開かれたAA 55周年記念集会に、日本から62人のメンバー、アラノン、専門家の人々が参加した。5年前のモンリオールで行われた50周年記念集会の4名のメンバーの参加からは予想できない人数の参加だった。

4日に現地に着き、早速シアトルセンターで登録を済ませた。メンバーのプレートは青、アラノンは赤、メンバーでアラノンは緑、ゲストは黄色で、さらに分厚いプログラムが渡された。中にAA用のプログラムとアラノン用のプログラムが入っていた。

AAが使った会場は、6万人以上は入るキングドーム、シアトル・センター、ワシントン州コンベンションセンター、シェラトンホテル、ウェスティンホテルで、びっしり組まれたプログラムは、とうてい全部出ることにはできず、また、英語も分からない私は、象のしっぽをつかまえて、これが象だと言われているようなものだった。

5日の夕方から4カ所で行われたダンスパーティーの一つのカントリー・ウェスタンの会場に行った。500人くらいの人達が有名なバンドの生演奏で踊り、聴き、フェロウシップしていた。このように、楽しいダンスからAAコンベンションは始まった。

6日の午前中は、ウェスティンホテルで行われた2回の日本語のミーティングに出た。日本語のミーティングは日本から来たメンバーだけで行われるのではないかと心配していたが、アメリカ人で日本で飲んだくれていた人、日本のAAに出たことのある人、また日本語のミーティングは初めての日本人などで、小さな

会場は一杯になった。アメリカで行われた初めての日本語のミーティングに、素晴らしいハイヤーパワーの恵みを貰えた。

夕方6時から8時までは、キングドームでオープンミーティングとフラッグセレモニーがあり、会場一杯に集まったメンバーの数は4万8千人に上った。その熱気と一体性は言葉ではとても言い表せない。集会の始まる前、アメリカンフットボールの試合の前のようなウェーブが会場全体に沸き起こった。自分がAAの55周年の歴史の中で生かされていることを心から感じていた。フラッグセレモニーでソ連の旗が入ってきたときの歓声は、地響きを立て、新しい国のAAの誕生をみんな心から喜んでいた。民族を超え、思想を超え、宗教を超えて一つになれるAAの素晴らしさを見ることができた。

7日の午前中はアジアのミーティングに出た。ホンコン、インド、フィリピン、日本からスピーカーが出た。午後はまたウェスティンホテルで日本語のミーティングを2回、夜はキングドームでビッグショーがあったが、私は疲れてホテルへ帰った。ホテルでもホールで11時半からミーティングがあった。

8日は朝9時から11時まで日曜日のスペシャルミーティングがキングドームであり、これでコンベンションは終わろうとしていた。スペシャルミーティングの最後は、歌手のメンバーの『アメイジング・グレイス(神の恵み)』というポピュラーで古い賛美歌の独唱がドームいっぱい響き渡った。みんな立って手をつなぎ、終わりには抱き合いながら涙を流して感激した。

このコンベンションの期間中、おそらく7万人に近い人達が集まり、ホテルとコンベンション会場を走り回るバスは2百台、会場や町に出ている警備や案内やコンベンションを支えた人達は2千人で、その多くはニューヨークのGSOが雇った専門の人だそうだ。日本では想像もできない桁違いのコンベンションに参加して、5年後のサンディエゴの60周年記念集会には、百人以上の仲間と一緒に行って、今度は同時通訳でミーティングに参加したいと願っている。

ジュンジ



REGISTER NOW!

COME CELEBRATE

"55 YEARS - ONE DAY AT A TIME"

INTERNATIONAL

CONVENTION OF

ALCOHOLICS

ANONYMOUS

SEATTLE, WASHINGTON JULY 5-8

1990

## = 第6ステップの旅 = AA55周年国際大会に参如して

埼玉県越谷児童相談所 吉岡 隆

1990.7.7 土曜日 晴れ

9:15 Ballroom 6Cの部屋へ行く。ここでは9:30~11:30までアラノン・ミーティングが開かれることになっている。Alcoholism he Family Disease (家族病としてアルコール依存症) というのがこのテーマである。3人の女性が『私の名前は です。ホーム・グループは です』と言ってから、アラノンとの出会いと家族病としてのアルコール依存症をどのように理解してきたかを、それぞれ15分ずつ語った。話が終わると参加者は皆暖かい拍手を送っていた。その時、不思議なことが私の中に起こった。それは父に対する長年の恨みが心の中で溶け出したことである。私の祖父は、桐材を扱うことにかけては腕の良い職人であったが、酒の問題ではいつも祖母を泣かせていた。父には兄弟が8人いたが、自分がいくら頑張っても祖父は少しも誉めてはくれず、むしろ努力するのは当然だといった態度を取る祖父の生き方に反発し、酒を飲まない生き方を選んだのだった。しかし、その父は自分に厳しい分だけ私にも厳しかった。父は酒こそ確かに飲みはしなかったが、祖父から受け入れて貰えなかった精神的な借財を、期せずして私に相続してしまっていたのだ。

青年期に達したある日、私は父に『何故、僕を認めてくれないんだ!』とそれまで鬱積していた恨みを総てぶつけてしまった。その時父は一言も弁解しなかった。私のほうは福祉の仕事につかせてもらったお陰で、次第にそのメカニズムを理解出来るようになっていっ



た。自分に(満たされた受容体験)がなければ、たとえそれが自分の子供であっても、受容出来ないのは当然のことだと。つまり、私の父はA・C(Adult child)で、私はA・CのA・Cだったのである。ようやく父の寂しさや苦しさが私に感じられてきた。理屈では分かっていたことであるが、感情の裏打ちがやっと出来たのだ。父も辛かったのであろうと思うと自然に目頭があつくなって来た。

私は父のことをずーっと恨んできたのだが、謝るべきなのはそうした父の思いなど全く理解していなかった私のほうだったのである。精神的な借財の一部を今度は私が自分の家族に負わせてしまった。いや、妻子ばかりではなく友人や仕事仲間にも担わせてしまっていた。私が意識して見ているものの中でも最大のものは「不寛容さ」であり、「懐の狭さ」だが、意識出来ないものが今後続々と出てくるに違いない。今の私に出来ることは第6ステップにしっかりと取り組むことだろう。(シアトル日誌より)

### 関東評議員会

### 専門家協力委員会から

7月1日、土曜日の昼下がり、東京は原宿の表参道に面したちょっとスノッパな教会を会場に『第3回専門家の要望を伺う集い』が開催された。今回は、病院、保健所、福祉事務所、相談機関、施設、新聞社から関係者が参加して下さり、和やかな雰囲気のうちに進められた。第3回目ということで、話もかなり具体的なことに及び、病院メッセージの効率的な方法や、AAを広めるために実現可能な手法、またAAに対する誤解を解くための様々な提案が出されたのと同時に、関係者は関係者の伝え方でAAメッセージを運んでいきたいという力強いお言葉もいただいた。また、特に福祉事務所の場合、回復への一通過地点にあり、現実に

回復者のイメージがないため、AAで回復した人がたまには姿を見せてくれたら、それが結果としてAAでの回復のアピールにつながるのではないかという要望も出された。

最後にFMラジオ(AM - 810)で毎日曜日の午前7:05~7:30にAAで回復した人の経験を放送する番組があり、そのテープを持参して下さった医師から、このように身近にAAでの回復に触れられることの素晴らしさが強調された。この集いで出された提案や要望をAAの中でどう活用していくかは、今後の私達に与えられた課題である。

## .....グループ誕生便り.....

### 宇部高嶺グループ

山口県の宇部に新しいグループが誕生しました。宇部高嶺というグループ名です。宇部は瀬戸内海に面し、海あり山ありで、ミーティング場は海から約5キロで、名のとおり高い嶺に位置する高嶺病院の敷地の一角にあるアルコール医療研究所を院長の配慮より使わせていただくことになりました。

今年の5月5日を初めに毎週土曜日にビギナーズミーティングを開いています。8～9名の少ない仲間が始めていますので、多くの仲間の御来場を心からお待ちしております。JR宇部線の宇部新川駅より高嶺行きの市営バスが出ており、他にも高嶺を通るバスもあります。とても静かな所で、夏の今頃は天然のクーラーがミーティング場を冷やしてくれますので、快適な気分でのミーティングが出来ます。

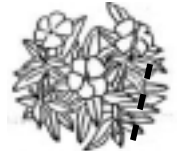
高嶺に“おいでませ”一緒にやりましょう。

### はまなすグループ

花季が6月～9月、北海道にしかない“はまなす”の花の多くは海岸の砂丘、草原に今をたけなわと咲き誇っています。ひたむきに生きようとする輝きが放つ強靱さと心の温もりを伝えてくれるという想いがこの

花にあるそうです。とてもきれいな朱赤色で実が付きまします。砂丘で健気に生きている花の名を、グループに命名、札幌で5つ日のグループとして平成2年4月29日、愛と希望のメッセージを運ぶべくスタートしました。男女5人のメンバーですが前向きに生きて行こうという点で気持ちが一致しています。自立を目指しているメンバーは仕事をもっていますので週3回、7時から1時間のミーティングです。昼間どんなに多忙であろうと、感情が、機嫌がななめであろうと、帰るときには平安が与えられる……。そんな仲間が好きです。

会場を提供して下さった教会の方達の暖かい理解と配慮の中で毎回『仲間っていいなあ・・・』というミーティングを続けています。AAプログラムの中でありのままの自分を見詰めながら一步一步前進していきます。そしてまだ苦しんでいるアルコール中毒者に愛のメッセージを運ぶことをメンバー一人一人の責任として行動実践し、明るく穏やかにソプラティエを続けていきたいと願っています。



### < 特別寄稿 >

## AAグループへ提言

寿福祉センター 村田 由夫

AAの15周年が大阪で行われたのが今年の三月、横浜でも横浜グループの第十回のセミナーが五月に行われた。メンバーは着実に増え、ミーティング場やグループの数も市内のみならず神奈川県全県下に広がっている。JSOの機能も充実して、AAは日本の各地に広がり、AAの無い空白の県もあと僅かというところのようである。

一方、病院、福祉事務所、精神保健センター等アルコール問題に取り組む関係機関も、AAの活動によって触発、刺激を受け、AAの活用、グループとの協力関係を積極的に行うなど、アルコール依存症の回復に大きな力を発揮するようになり<地域の回復>に新しい展開が見られるようになってきている。

それら関係機関のスタッフは大変に熱心で、勉強も良くする。これからアルコール問題が大きく展開していく節目のところにいるとの思いがあるのではなからうか。しかし、日本全体から見ればまだまだ小さな芽ではあるけれど、ダイナミックに活動する関係者は10年前、5年前に比べて増えている。

このような状況を各地域のグループが利用し、活用

し、未だ苦しんでいる仲間メッセージが確実に届くように活動が進められているか疑問である。

AAはこの十年で社会のアルコール依存症に対する見方、態度に大変大きな影響を与えてきた。特にAAの初期のメンバーやグループのひたむきなメッセージを体験した者にとって、最近のグループの活動はマンネリになっているような気がしてならない。セミナー、コンベンションは多いのだが、何か今一つ追って来るパワーを感じられない。

また、先行く仲間がグループや仲間から離れ、仕事中心に市民のモラルの見本のようにもなっている、少しも魅力も感じない。そんな人が多いように感じている。生きることも死ぬことも出来ない状態の中でAAと出会い、仲間と出会ったのは一体何なのだろうか。「あなた」がメッセージを運ばなければAAは成立しないし、苦しんでいる仲間は助からない。AAも「あなた」も新しい仲間を迎え入れなければ死滅することは自明である。

AAのプログラムに厳しく、仲間に優しいグループの伝統をより太く引き継いで欲しいと願う。横浜グル

ープは10年を越えた。個人にも4・5ステップがあるように、グループにも4・5ステップがあって良い。グループの大事な目的は何であるのか！ 横浜のグループのよってたつ地域で、アルコールに苦しんでいる仲間にどんな働き掛けがあるのか改めて考えてよいだろう。福祉事務所や病院だけでなく、交番や民生委員・保護司・スーパーのおかみさん、酒場のあるじ・八尾屋・乾物屋のオヤジ・学校の関係者・子供達・マージャン屋の支配人・ノミヤの若いもん.....。

AAのメッセージが地域の中にキメ細かく伝わっているだろうか、苦しんでいる仲間により確実にメッセージが伝わることに幾重にも配慮が必要だろう。グループに問題がある一と言うことは悪いことではないと思っている。それはグループの糧であり成長のステップだから、AAはそのようにして今日まで歩んできたのだろう。グループも多くの人々を引きつける魅力を溢れさせて欲しい。最近AAが面白くないと感じている一人である。でも、僕自身の問題もあるだろう。

.....

## 9/30(日) 関東大運動会が 開かれれます



秋空の下で健康を分かち合おうじゃないかと、『元氣印』の仲間が企画したこの催しが、どうせやるならでっかくやろうと言うことにあいなり、関東のグループ全体の催しとなりました。その準備が日を追うごとに活気に満ちています。今回はその内容を紹介させていただきます。

まず、健康科として(参加券¥500)をお求め下さい。実行委員、地区委員、地域委員が取り扱って

います。勿論JSOでも受け付けています。あなたが、もう一人の友人に声をかけてほしいのです。

プログラムの目玉は『AAウルトラクイズ』です。最近出版された『成人に達する』の中から出題されます。まだお手元がない方はJSOに山積みされています。お早めにお求め下さい。クイズ用紙は、JSOまたは実行委員に声をかけて下さい。当日正解者の中から、抽選で10名の方に賞品が出ます。奮ってご参加下さい。

たくさんの仕事があります。委員会は第1・第3日曜日のPM:5時にJSOで開いています。協力をお願いします。

賞品の「献品」も募っています。こちらもJSOまでお願いいたします。

### WSM 評議員主催

## 《第1回12の概念ワークショップ》

### -----開催のお知らせ



『12の概念』なんて考えただけで頭が痛くなりそうですが、実はよく読んでみると非常に面白いのです。その面白さを少しでも皆様と分かち合えればと、このワークショップを企画しました。土曜の午後の半日だけで、時間が短いため、概念のほんのさわりしか触れ

られないと思いますが、それでも12の概念という、比較的未知の分野と一緒に踏み込んでみませんか？

日時：10月6日(土)午後1:30~4:30

会場：飯田橋セントラルプラザ 6F

視聴覚室

## 速報!!

## A A 関東 90 秋季ラウンドアップ

とき 1990年11月25日26日27日(日~火)

開催決まる

ところ 越生・埼玉厚生年金休暇センター

埼玉県入間郡越生町古池700

詳細は次号にてお知らせします。